

バイオガス調達費

平成28年9月13日

大阪ガス株式会社

資料目次

1. エネルギー供給構造高度化法について … P.3
2. バイオガスの都市ガス利用について … P.4
3. バイオガス調達費の概要 … P.5
4. バイオガス調達費の算定方法 … P.6～7

1. エネルギー供給構造高度化法について

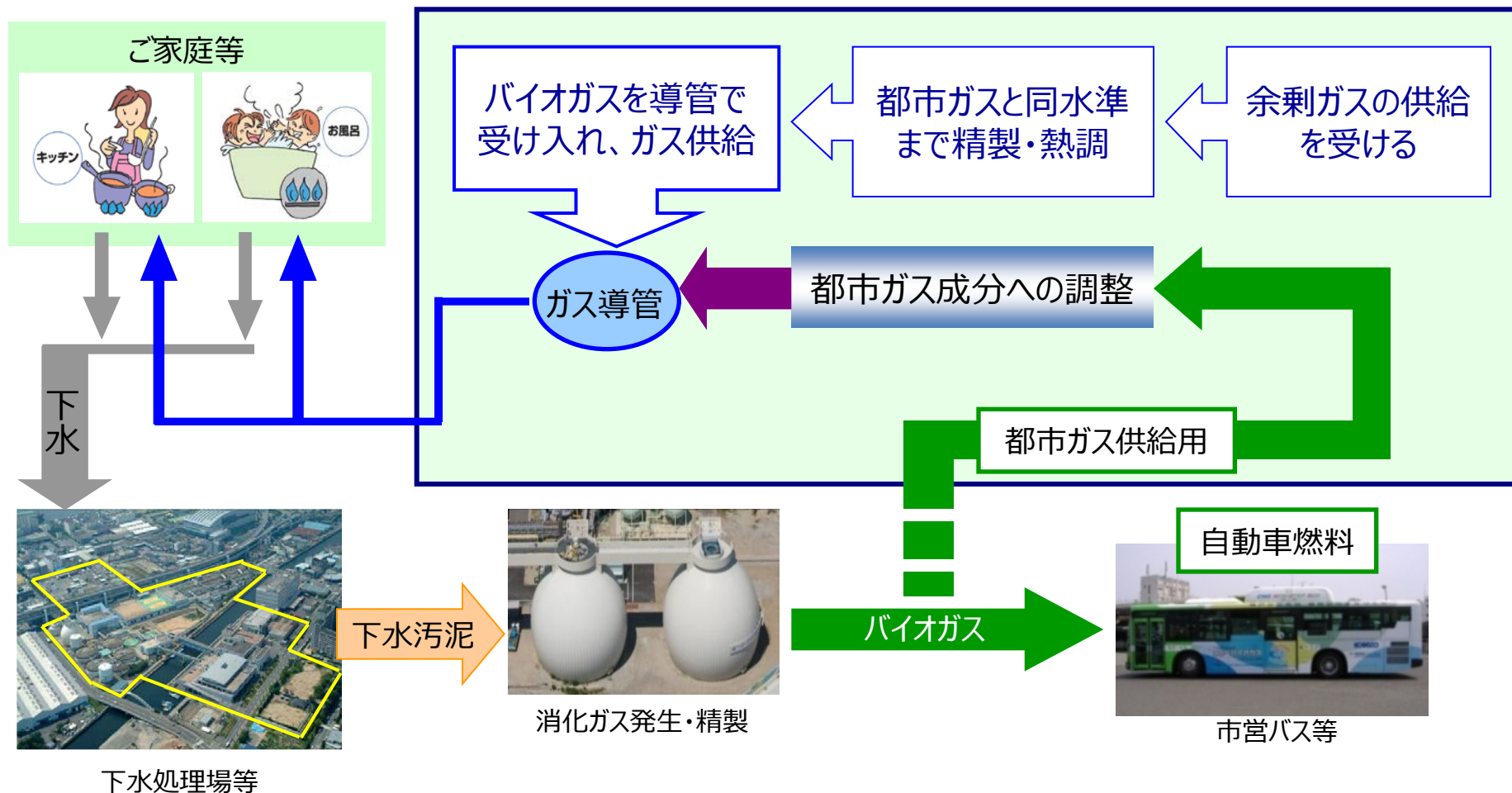
- H21年8月、電気・ガス・石油事業者等による、非化石エネルギー源の利用拡大 および 化石エネルギー原料の有効利用促進を目的とした「エネルギー供給構造高度化法」が施行されました。
- H22年11月、取り組むべき目標や実施方法などに関する判断基準が公表され、一定規模以上のガス事業者は目標達成に向けた計画書の提出を義務づけられました。
- 具体的な目標は「バイオガスの利用」が対象であり、当社はH22年12月に計画書を提出しております。

◆判断基準および当社の目標

| | | |
|------------------------------|----------|--|
| 法で定められた 判断基準 (ガス事業者向け) | 利用 目標 | H27年において、下水処理場等で発生する余剰バイオガス推定量(適正なコストで調達できるもの)の80%以上を利用 |
| | 実施 方法 | バイオガスの調達条件の策定・公表 |
| 当社の目標 | 目標量 | 75.8万m ³ /年 ※H27年度実績は 100%利用しています。なお、今後も100%利用する見込みです。 |
| | 考え方 | 供給区域内において、余剰バイオガスが発生している下水処理場等での利用可能量を対象に目標量を設定しています。 |

2. バイオガスの都市ガス利用について

- エネルギー供給構造高度化法を踏まえ、当社では下水汚泥から発生した消化ガス(バイオガス)を都市ガス同等に精製・熱調し、都市ガス導管で受け入れ、お客さまへ供給しています。



3. バイオガス調達費の概要

- バイオガス調達に係る費用は、以下の通りです。

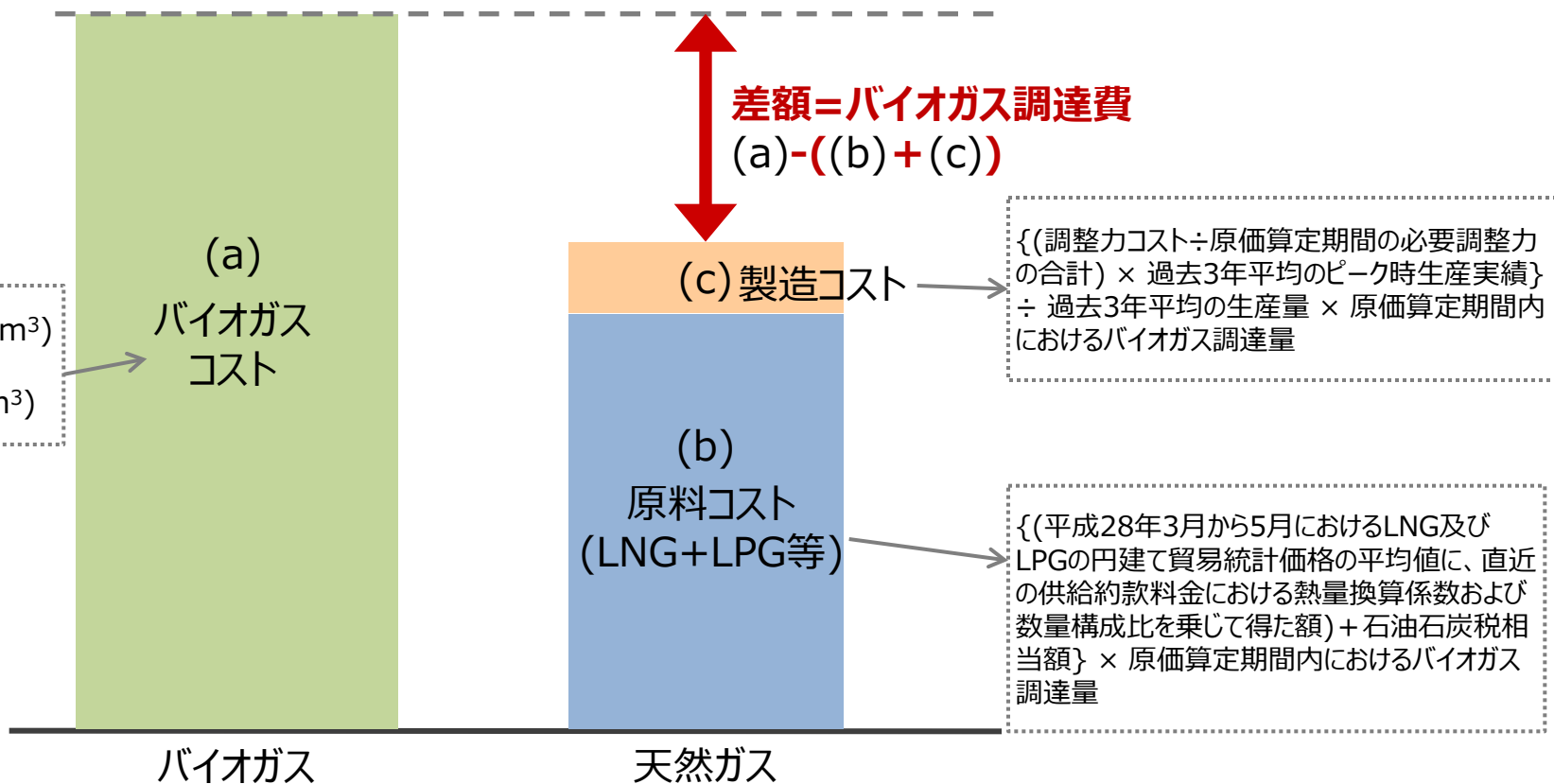
バイオガス調達費

| | | 単位 | 計算式 | H29~H31 平均 |
|--------------|----------|----|-----------------------|---------------|
| バイオガス 調達費 | バイオガスコスト | 億円 | (a) | 0.9 |
| | 原料コスト | 億円 | (b) | 0.4 |
| | 製造コスト | 億円 | (c) | 0.0 |
| | | 億円 | $(a) - \{(b) + (c)\}$ | 0.6 |

4. バイオガス調達費の算定方法①

- バイオガス調達費は、バイオガスコストから原料コストと製造コストを差し引くことにより算定しています。

バイオガス調達費の算定方法



4. バイオガス調達費の算定方法②

- バイオガスコストは直近のバイオガス調達に係る契約をもとに算定しています。
- 原料コストおよび製造コストは、託送料金算定省令に基づき算定しています。

◆ バイオガス調達費の算定式

$$\boxed{\text{バイオガス調達費}} = \boxed{\text{(a)バイオガスコスト}} - \left(\boxed{\text{(b)原料コスト}} + \boxed{\text{(c)製造コスト}} \right)$$

(a) バイオガスコスト

原価算定期間におけるバイオガス調達量 ** (千m³) × 契約単価 ** (円/m³)

(b) 原料コスト

(平成28年3月から5月におけるLNG及びLPGの円建て貿易統計価格の平均値 + 石油石炭税相当額)(円/m³)
 × 原価算定期間内におけるバイオガス調達量(m³)
 = 32.35 (円/m³) × ** (千m³)

(c) 製造コスト

{(調整力コスト(円) ÷ 原価算定期間の必要調整力(m³/時)の合計)
 × 過去3年平均のピーク時生産実績(m³/時)} ÷ 過去3年平均の生産量(m³)
 × 原価算定期間におけるバイオガス調達量(m³)
 = {(1,564 (百万円) ÷ 126(千m³/時)) × 2,275(千m³/時)} ÷ 8,383(百万m³) × ** (千m³)

(注) 個別契約事項のため、一部の数値を非表示としています。

以上